



西小だより

令和5(2023)年1月11日

香芝市立真美ヶ丘西小学校 校長室発行



2023年、明けましておめでとうございます。本年も、変わらぬご指導ご鞭撻よろしく願いいたします。



さて、石川啄木さんが詠んだ歌に『何となく 今年はいい事あるごとし 元日の朝 晴れて風なし』という歌があります。新しい年を迎えて、「今年こそは。」という決意と希望を感じる歌として心に残っています。2023年がそれぞれに「いい事」のある、素晴らしい年であるよう期待したいと思います。

早いもので松の内も、もうすぐ空けて、松飾りもとれ、慌ただしい生活が戻ってまいります。凍りつく夜空にオリオン座の星々が美しく輝いていますが、1月20日には大寒を迎え、いよいよ冬将軍の到来でございます。学校におきましては1年のまとめ、3学期です。この時期、健康に留意しながら、1、2学期同様努力していきたいと思っています。しかしながら、未だに新型コロナウイルス感染症が収束する気配が見られません。今、私たちにできること(十分な睡眠を心がけ、自律神経を整えて、免疫機能を上げること)、当たり前のことを当たり前に行き、これからも感染予防に努め、1・2学期同様、精一杯、教職員一同が力を合わせ子どもたちを守り健やかに育むことができますよう努力して参る所存です。何卒ご理解・ご協力よろしく願いいたします。

引き続きのお願い

(1) 新型コロナウイルス感染症の収束がまだまだ見通せない状況にあります。今後も子どもたちの安心安全を守ることを大切に今まで通りの感染予防対策を実施し、教育活動を進めていきたいと考えております。ご家庭におかれましても朝の検温等ご協力お願いいたします。また、風評被害や心無い差別的な事案のないよう、地域・家庭皆様方のご理解とご協力を何卒よろしく願いいたします。

(2) 家庭で規則正しい生活が送れるよう、ご協力お願いします。「早寝・早起き・朝ごはん」…睡眠時間が乱れると、脳や体の発達に必要なホルモンの分泌がとどこおったり自律神経が乱れたりして学習意欲や集中力の低下、体調不良につながる場合があります。

お知らせ

3学期の主な学校行事予定について

1月10日(火)第3学期始業式・大掃除 1月11日(水)短縮4校時 1月12日(木)給食開始・委員会活動

1月16日(月)放送朝会・第3回CS学校運営協議会 20日(金)入学説明会 25日(水)短縮4校時

1月26日(木)クラブ活動(3年生見学) 2月1日(水)校内合唱発表会(5年)業前 2月2日(木)委員会活動

2月6日(月)放送朝会 2月9日(木)クラブ活動 2月16日(木)クラブ活動最終 2月24日(金)授業参観・学級懇談

2月28日(火)創立記念日 3月2日(木)委員会活動 3月6日(月)放送朝会 3月8日(水)部団児童会

3月14日(火)卒業式予行 3月17日(金)給食最終・短縮4校時(5年生は前日準備) 3月20日(月)卒業式

3月24日(金)修了式・大掃除・部団児童会

◎その他、詳細等につきましては、各学年からの「お知らせ(学年便り)」を参考にしてください。

※新型コロナの感染状況によって、行事の中止や延期、内容の変更があります。

1月10日(火)始業式 学校長の話

皆さん、おはようございます。そして、明けましておめでとうございます。短い冬休みでしたが、楽しく過ごせましたか？今日朝から皆さんの元気よく登校してくれる姿を見て、また元気のよい挨拶を聞いて、そして冬休み中に大きな事故や事件がなく新しい年とともに3学期を迎えることができるとても 嬉しいです。ところで、なぜ「明けましておめでとうございます。」というか知っていますか？正月の漢字「正」は、ただす・あらためる・きちんとするという意味です。お正月は今から1500年ほど前にあった一番古い行事だそうです。門松、注連縄(しめなわ)、鏡餅、おせち、お年玉などの正月行事がありますが、今はこのことについてのお話はしませんが、それぞれに由来・意味がありますので、一度調べてみてくださいね。そのそれぞれの由来から、正月を迎えることが特別な意味をもち大変めでたいため、新しい年に「明けましておめでとうございます。」と挨拶を交わし、無事に年を越せた感謝と新年の希望を込めて、正月を祝うわけです。一つの節目ですね。「あけましておめでとうございます」という挨拶は一つ歳をとることができることのお祝いの言葉と同時に新春を迎え木の芽のように芽がでるという意味が込められているそうです。皆さんも新しい年を迎え「今年はこれをがんばろう」という目標を立てて、ぜひ目標が達成できるよう、そして芽が出るようにしてってくださいね。それから2023年は皆さんも知っているように「うさぎ年」ですね。十干十二支では60年に一度の「癸卯(みずのとう)」になります。「癸(みずのと)」というのは

十干の順序で言えば最後にあたり、一つの物事が収まり、次の物事への移行をしていく段階です。つまり物事の終わり始まりを意味するほか、「揆(はるか)」という字の一部であることから、いわゆる種子、たねが大きくなり春の間近につぼみが花開く直前であるという意味です。癸卯の「卯は十二支の四番目で「茂(しげる)」という時期であり繁殖する、増えるという段階にあたります。その「卯」という字は左右に開かれた門で冬の門が開き飛び出るといふ意味があると言われていふ。だから2023年「癸卯(みずのとう)」の年は成長や飛躍のために育まれた力が芽吹き始める年として、これまでの努力が実り始める、これまでの努力が花開き実り始める。といったことを表していると言えます。皆さんは年の始めの努力が種となり年末には花が開く結果に繋がるようにしてほしいと思います。2023年「癸卯(みずのとう)」は昨年までの様々なことに区切りがつき次へと向かっていく成長や増殖といった明るい世界が広がっていく年となってほしいですね。そこで3学期、また2023年が皆さんにとって充実したものとなるように、これからいくつかお話をしますので目と耳と心でしっかりと聞いてください。一つ目は先程も少し言いましたが【目標、目的をもって生活してください】ということです。3学期は1, 2学期と比べて学校に来る日が短い学期です。一月「行く」二月「逃げる」三月「去る」といって、「あつ」という間に過ぎてしまいます。1~5年生は今日も含め52日、6年生は49日です。あつという間にすぎてしまう学期ですが、この3学期は学年のまとめをする大切な学期でもあります。自分からすすんで挨拶をする。授業中進んで手を挙げて発表する。掃除をしっかりとする。トイレのスリッパを揃える。など。しっかりと目標をもって毎日を大切に過ごしてください。二つ目は【思いやりの気持ちをもって生活してください】ということです。友だちを傷つけることを言ったり、したりしては絶対にいけません。学校は皆さんにとって楽しいところでなければなりません。3学期も全員が思いやりの気持ちをもって、友だちに優しく、そして仲良く生活し笑顔あふれる真美ヶ丘西小学校にしてください。三つ目は【感謝の気持ちを持ちましょう】です。3学期が終わると皆さんは一つ上の学年に進みます。様々な方々のお陰で一つ上の学年を迎えることができます。皆さんを見守り育てていただいたお家のかた、先生方、地域の方々への感謝を忘れないでください。最後のお話ですが、寒い冬は、次に大きく伸びるためにあります。春に咲く草花は寒い冬をじっと耐えて我慢し、暖かい春がきたら、一気に美しい花を咲かせるのです。皆さんもこの寒い時期3学期に十分力を蓄えて、春には大きく花開くように「仕上げ」と「準備」の3学期、引き続き感染症対策もしっかりと、寒い日も続きますが、寒さに負けず、事故、怪我、トラブルなどがおこらないよう、また健康面にも気をつけて楽しく皆でより素晴らしい学校にするために頑張りましょう。長くなりましたが、お話終わります。